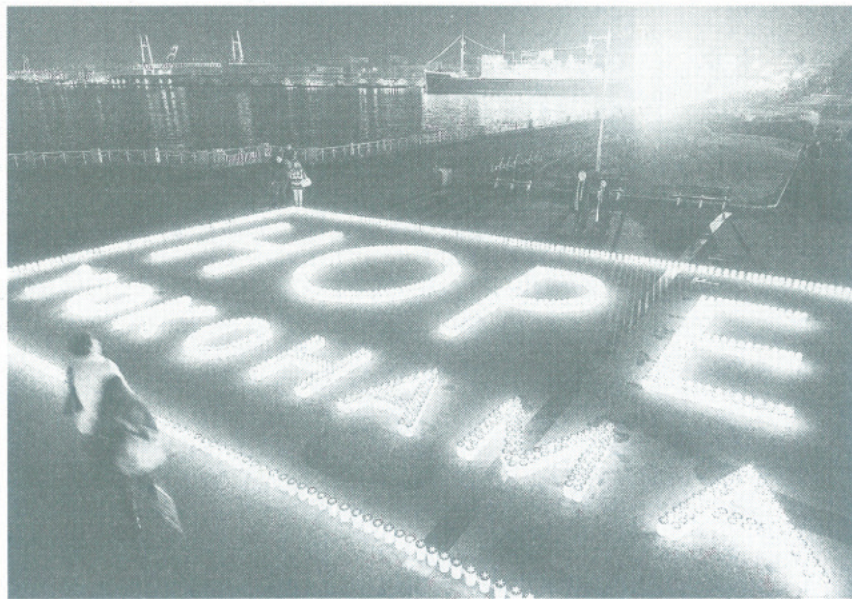


ジャンル 新聞

内容

「灯火に願う復興」という記事で、12月31日(土)に山下公園で行われた復興キャンドルイベント「HOPE」の様子が社会面に掲載されました。

東日本大震災からの復興を願って約2千個のキャンドルでつくられた「HOPE YOKOHAMA」の文字
 31日夜、横浜市中区の山下公園(木田 亜紀彦写真)



灯火に願う復興 山下公園

横浜市中区の山下公園で31日夜、巨大な「HOPE (希望)」の文字の形に並べられたキャンドル約2千個と、木々に飾り付けられた発光ダイオード(LED)入りの果実袋「ひかりの実」約3千個が点灯した。希望の灯火を見守りながら大勢が新しい年を迎えた。

HOPE実行委員会の主催。山下公園は関東大震災(1923年)で出たがれきりで海を埋め立てて造られた「震災復興の象徴」。立ち上がる東日本大震災の被災

地へ横浜発のメッセージを託した。

ひかりの実は横浜と岩手県陸前高田市の子どもたちが笑顔のイラストを描いた。赤、青、緑、黄の「果実」が、暮れゆくミナト横浜を輝かせた。

横浜市港北区から家族で訪れた会社員蛭田紗奈江さん(25)は「逆境だからこそ人の強さを感じた一年だった。新しい年も続いていく復興支援の一助に、自分もなりたい」と誓った。

(遠藤 綾乃)

